

南の風 528

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

2024年も大変お世話になりました。どうぞ良いお年をお迎えください！

今回から、恩塚氏の「ゲームモデル」について触れます。

3 ゲームモデルに基づくチーム作り

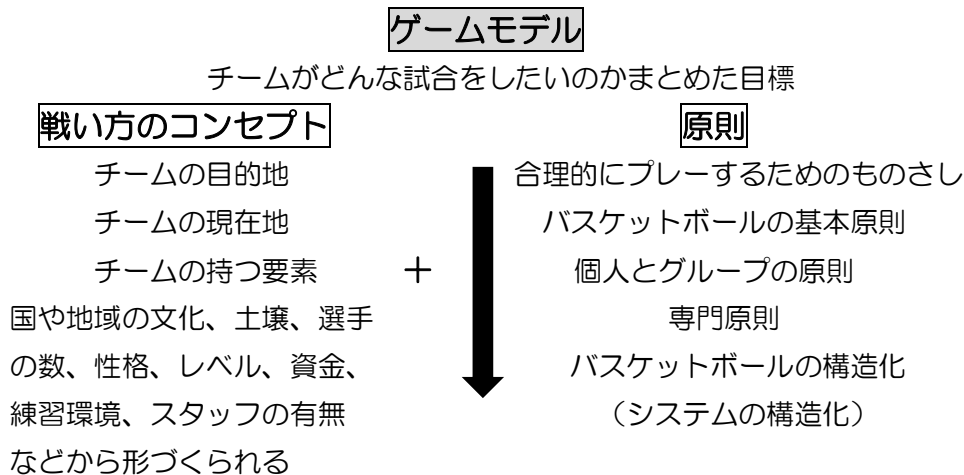
①ゲームモデルとは

☆ゲームモデル=コンセプト+原則

ゲームモデルとは「チームとしてこういう試合をしたい」ということを反映させた、ゲームの設計図のことです。どんな試合をしたいのかをまとめた目標です。スローガンとして表すこともできます。どんな試合をしたいのかをまとめるときに必要になってくるのは、(1)戦い方のコンセプトと(2)ある状況における目的を達成するための「ものさし」である原則です。すなわち「**ゲームモデル=戦い方のコンセプト+原則**」ということになります。

原則は常に目的があって初めて成り立つものです。目的を達成するために原則はあります。チームが戦い抜くためのコンセプトと原則がまとめられ、それがどんな試合をしたいというアイデアになったものがゲームモデルです。

下記の概念図が ゲームモデルの全体像になります



ゲームモデルは、プレーのガイドラインであるとも言えます。もう少し掘り下げると「こういうときはこういうことをしよう」であり、それはプレーの方向性を示すことになり、このような方向性を指し示した原則が集まってきたもの（原則の体系）がゲームモデルです。「こういうときはこういうことをしよう」ということがまとめてあるので、意思決定の根拠にできます。選手はゲームモデルがあることで落ち着いてプレーできます。「原則がこうだから私はこうする」あるいは「原則はこうだけど、こっちのほうがいいのでこうしました」といった判断の指標になるからです。このような原則が多く、しかもまとめて整理されているほど、自分たちがやろうとしていることが明確に表現できていると言えます。

新年度に続きます